



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月27日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 島精機製作所

コード番号 6222 URL <http://www.shimaseiki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 島 正博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務部長

(氏名) 南木 隆

TEL 073-471-0511

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	28,675	△7.5	727	△83.7	△2,498	—	△2,070	—
23年3月期第3四半期	30,996	24.9	4,458	—	△356	—	△1,194	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △2,915百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △2,078百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第3四半期	△59.89	—
23年3月期第3四半期	△34.56	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第3四半期	105,268		82,533		78.3
23年3月期	113,950		86,590		75.9

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 82,390百万円 23年3月期 86,516百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00
24年3月期	—	17.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	22.50	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	38,500	△10.0	1,500	△74.6	△2,000	—	△1,700	—	△49.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

#### (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	36,600,000 株	23年3月期	36,600,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	2,025,117 株	23年3月期	2,024,738 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	34,574,992 株	23年3月期3Q	34,576,167 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

<b>1. 当四半期決算に関する定性的情報</b> .....	<b>2</b>
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
<b>2. サマリー情報(その他)に関する事項</b> .....	<b>3</b>
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
<b>3. 四半期連結財務諸表</b> .....	<b>4</b>
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
<b>4. 補足情報</b> .....	<b>10</b>
生産、受注及び販売の状況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年12月31日）においては、欧州債務危機の深刻化による金融不安の広がりや、欧米景気の減速、アジア新興国における成長の鈍化など世界経済の下振れ懸念が高まり、先行き不透明感が増しています。わが国においては東日本大震災の影響による景気悪化を脱し回復途上にあるものの、世界経済の減速による輸出の停滞や急激な円高の進行などが景気回復を足踏みさせています。

このような経済情勢の中、当社のコア・ビジネスである横編機事業では、主力の中国市場において第1四半期には生産性の高いコンピュータ横編機の需要が拡大し、高性能かつコストパフォーマンスに優れた新機種「SSR」を中心に売上が伸びました。しかし、第2四半期に入ると欧米アパレルからの発注量が例年に比べ大幅に減少し、先行き不透明感の広がりや金融引締めの影響を受けて輸出型ニットメーカーを中心に設備投資が急速に減退し、第3四半期においても、こうした事業環境の回復は見られませんでした。また、欧州、ロシア向けの生産拠点である中東のトルコや、アジア周辺諸国などの新興のニット生産地域においても期間の後半は設備投資の伸びが鈍化しました。さらに付加価値の高い消費地型生産の核となるホールガーメント<sup>®</sup>横編機は第1四半期にはイタリアを中心に売上が拡大しましたが、第2四半期以降は減速しました。9月にバルセロナで開催された国際繊維機械見本市（ITMA 2011）では、他社の追随を許さない高い開発力と技術力がユーザーに高く評価され、今後の設備投資拡大の手応えは得ましたが、直近の売上にはつながりませんでした。これらの結果、横編機事業の売上高は229億25百万円（前年同期比10.3%減）となりました。

デザインシステム関連事業においてはユーザー業界に密着した企画提案型営業の展開により「SDS-ONE APEX」や自動裁断機「P-CAM」の販売が拡大し、売上高は15億14百万円（前年同期比29.1%増）となりました。手袋靴下編機事業は中国および韓国製の低価格機との競合により販売単価の低下を余儀なくされ、売上高は11億9百万円（前年同期比7.9%減）にとどまりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間全体の売上高は286億75百万円（前年同期比7.5%減）となりました。利益面におきましては、コストダウンや経費削減に努めましたが、円高の影響や厳しい競合により販売価格が下落したことで売上総利益率が低下し、営業利益は7億27百万円（前年同期比83.7%減）となりました。また為替差損37億86百万円が発生したことにより、経常損失24億98百万円（前年同期は経常損失3億56百万円）、当第3四半期純損失は20億70百万円（前年同期は純損失11億94百万円）となりました。

\*ホールガーメントは、株式会社島精機製作所の登録商標です。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は前期末に比べ86億82百万円減少し、1,052億68百万円となりました。また自己資本の額は823億90百万円となり、自己資本比率は前期末に比べて2.4ポイント上昇し78.3%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の見通しにつきましては、欧米経済の停滞や、ニット生産市場における設備投資の抑制、円高局面の持続など当面厳しい状況が続くと予想されます。当社グループは直面する厳しい事業環境を打開するため、最新の技術力を結集したオンリーワン製品を投入し、業界全体の活性化を図るため積極的な販売提案を重ねる一方で、製造原価の低減や経費削減を押し進め、収益力の一段の向上を図ってまいります。しかしながら、厳しい経済状況の中で、ニット生産市場における設備投資の急速な回復は望めないと見込まれるため、平成23年10月24日に発表しました平成24年3月期の通期の連結及び個別業績予想額を修正致します。なお、第4四半期および期末における為替レートは1米ドル77円、1ユーロ100円を想定しております。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## 税金費用の計算

海外連結子会社は、税金費用について、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,966	15,097
受取手形及び売掛金	33,814	30,250
有価証券	1,535	280
たな卸資産	18,774	20,076
その他	3,651	4,729
貸倒引当金	△2,494	△2,678
流動資産合計	75,246	67,755
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,027	5,657
土地	10,999	10,977
その他（純額）	3,690	3,749
有形固定資産合計	20,717	20,384
無形固定資産		
のれん	5,420	4,875
その他	132	126
無形固定資産合計	5,553	5,002
投資その他の資産		
投資有価証券	7,149	7,143
その他	7,130	6,442
貸倒引当金	△1,846	△1,459
投資その他の資産合計	12,432	12,126
固定資産合計	38,703	37,513
資産合計	113,950	105,268

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,046	4,948
短期借入金	5,693	5,701
1年内返済予定の長期借入金	—	3,000
未払法人税等	478	80
賞与引当金	776	296
債務保証損失引当金	649	720
その他	4,582	2,796
流動負債合計	19,228	17,544
固定負債		
長期借入金	4,500	1,500
退職給付引当金	1,418	1,338
役員退職慰労引当金	1,084	1,147
その他	1,128	1,204
固定負債合計	8,131	5,190
負債合計	27,359	22,734
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,859	14,859
資本剰余金	21,724	21,724
利益剰余金	68,234	64,953
自己株式	△6,400	△6,401
株主資本合計	98,417	95,136
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△456	△580
土地再評価差額金	△7,433	△7,429
為替換算調整勘定	△4,011	△4,736
その他の包括利益累計額合計	△11,900	△12,745
新株予約権	62	131
少数株主持分	11	11
純資産合計	86,590	82,533
負債純資産合計	113,950	105,268

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	30,996	28,675
売上原価	16,981	17,540
売上総利益	14,014	11,134
販売費及び一般管理費	9,556	10,407
営業利益	4,458	727
営業外収益		
受取利息	298	333
受取配当金	68	68
その他	172	259
営業外収益合計	539	661
営業外費用		
支払利息	54	29
為替差損	5,210	3,786
その他	89	72
営業外費用合計	5,354	3,888
経常損失(△)	△356	△2,498
特別利益		
貸倒引当金戻入益	411	—
特別利益合計	411	—
特別損失		
代理店解約損	—	112
投資有価証券評価損	1,573	110
減損損失	—	20
固定資産除売却損	14	17
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	125	—
関係会社出資金評価損	30	—
特別損失合計	1,744	261
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,690	△2,760
法人税、住民税及び事業税	567	103
法人税等調整額	△1,062	△793
法人税等合計	△495	△689
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,194	△2,070
少数株主利益	0	0
四半期純損失(△)	△1,194	△2,070



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,194	△2,070
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	584	△123
土地再評価差額金	—	4
為替換算調整勘定	△1,468	△725
その他の包括利益合計	△883	△845
四半期包括利益	△2,078	△2,915
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,078	△2,915
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,552	1,173	1,205	27,932	3,064	30,996
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	25,552	1,173	1,205	27,932	3,064	30,996
セグメント利益又は損失(△)	7,632	129	311	8,072	△104	7,968

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	8,072
「その他」の区分の利益	△104
全社費用(注)	△3,510
四半期連結損益計算書の営業利益	4,458

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,925	1,514	1,109	25,550	3,124	28,675
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	22,925	1,514	1,109	25,550	3,124	28,675
セグメント利益又は損失(△)	4,048	174	170	4,393	△21	4,371

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	4,393
「その他」の区分の利益	△21
全社費用(注)	△3,643
四半期連結損益計算書の営業利益	727

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	生産高	前年同四半期比
横編機	20,674	79.1%
デザインシステム関連	1,683	120.7%
手袋靴下編機	1,169	91.4%
合計	23,527	81.7%

(注) 金額は、販売価格によっており、消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高	前年同四半期比	受注残高	前年同四半期比
横編機	16,105	61.6%	2,290	29.4%
デザインシステム関連	1,606	134.3%	223	84.7%
手袋靴下編機	1,153	94.3%	184	115.3%
合計	18,865	66.1%	2,698	32.9%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	販売高	前年同四半期比
横編機	22,925	89.7%
デザインシステム関連	1,514	129.1%
手袋靴下編機	1,109	92.1%
その他	3,124	102.0%
合計	28,675	92.5%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。